



滑って受けて80年
世界をもっとスムーズに



Raise Up "Daido Spirit"

80th



大同メタル工業株式会社

株主のみなさまへ

第112期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

証券コード 7245

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結決算ハイライト(前年同四半期比)	1
営業のご報告	2
進化のあゆみ	3
事業セグメント別概要(事業内容・売上高構成比)	5
グローバルマーケットシェア	6
2020年3月期 通期業績予想	6
配当について	6
TOPICS	6
決算の状況(連結)	7
業績の推移(連結)	8
企業情報	9
会社概要／役員	9
株式事項／グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11
株主優待	11

代表取締役会長
兼最高経営責任者

判治誠吾

代表取締役社長
兼最高執行責任者

樫山恒太郎

連結決算ハイライト(前年同四半期比)

1 2020年3月期第2四半期(累計)決算概要

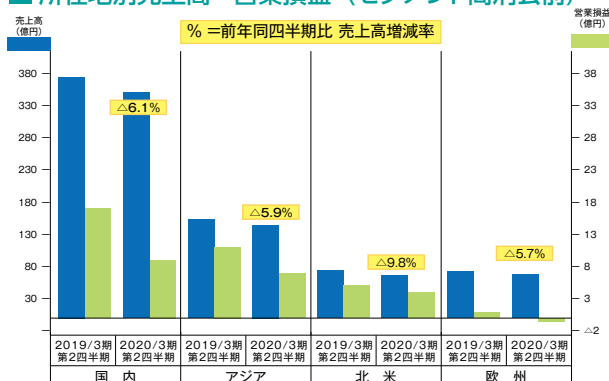
単位: 百万円 (百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

連結業績	【前期】 2019年3月期 第2四半期	【当期】 2020年3月期 第2四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高	53,822	50,701	△ 3,120	△ 5.8%
営業利益 (同利益率)	3,716 (6.9%)	2,335 (4.6%)	△ 1,381	△ 37.2%
経常利益 (同利益率)	3,372 (6.3%)	2,180 (4.3%)	△ 1,192	△ 35.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (同利益率)	1,758 (3.3%)	926 (1.8%)	△ 832	△ 47.3%
為替レート (1USドル/円)	110.54	107.79	左記為替レートは 各期6月末TTMレート	
為替レート (1ユーロ/円)	127.91	122.49		

セグメント情報 (事業別売上高)	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率
自動車用エンジン軸受	32,820	30,690	△ 2,130	△ 6.5%
自動車用エンジン以外軸受	8,406	7,919	△ 486	△ 5.8%
非自動車用軸受	4,694	5,058	363	7.8%
自動車用軸受以外部品	7,946	7,281	△ 664	△ 8.4%
その他(※)	1,393	1,259	△ 133	△ 9.6%
セグメント間の内部売上高 又は振替高の消去	△ 1,438	△ 1,507	△ 69	-
合 計	53,822	50,701	△ 3,120	△ 5.8%

(※)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 所在地別売上高・営業損益(セグメント間消去前)



3 所在地別売上

◎増収要因 △減収要因 単位: 百万円

地域	前年同四半期比		増減要因項目
	増減額	増減率	
国内	△ 2,272	△ 6.1%	◎乗用車新規開拓に伴う受注増 △輸出用トラックの減少 △ターボチャージャー用軸受の受注減 ◎造船受注が底堅く推移し、海外向け(中国・韓国)でのシェアアップ ◎油圧機器部品の新規開拓 △建設機械関連の落ち込み
アジア	△ 903	△ 5.9%	△タイ:自動車関連の輸出減少に伴う受注減 △中国:新規顧客開拓に伴う受注増、日系顧客の需要が底堅く推移したものの欧米・中国顧客の需要減で微減 △韓国:国内外生産・販売が低調、特に中国向けの回復が鈍化 △世界的な自動車生産の落ち込みによるアルミダイカスト製品の受注減
北米	△ 727	△ 9.8%	△自動車全般の減速・建設機械関連の落ち込み
欧州(ロシア含む)	△ 409	△ 5.7%	△欧州のディーゼル車需要減に伴う受注減 ◎中高速ディーゼル用軸受受注微増
内部取引消去	1,192	-	
全体合計:	△ 3,120	△ 5.8%	△円高による為替影響

4 所在地別営業損益

◎増益要因 △減益要因 単位: 百万円

地域	前年同四半期比		増減要因項目
	増減額	増減率	
国内	△ 760	△ 43.4%	△労務費、経費増による固定費増 △飯野グループ国内再編にかかる費用 △海外需要減少による海外子会社への材料供給減
アジア	△ 416	△ 35.0%	◎アルミダイカスト製品の工場合理化 △DMCT(タイに設立のアルミダイカスト新工場)立ち上げによる人件費/工場経費増
北米	△ 111	△ 18.9%	△飯野:米国からメキシコへの生産移管の一時的な費用増
欧州(ロシア含む)	△ 159	△ 171.3%	△欧州全体の労務費、材料費増
内部取引消去	66	-	
全体合計:	△ 1,381	△ 37.2%	◎経費減少 △売上減少の影響等他

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2020年3月期第2四半期(累計)における営業の概要についてご報告申し上げます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、自動車関連産業の全世界的な需要の伸び悩みにより、売上高は507億1百万円と前年同四半期比31億20百万円(△5.8%)の減収となりました。

利益面では、世界的な自動車生産の落ち込みによる減収の影響や当社の連結子会社である株式会社飯野製作所の国内拠点の集約、海外での生産拠点移管による一時的な再編費用の影響により、営業利益は23億35百万円と前年同四半期比13億81百万円(△37.2%)の減益、経常利益は21億80百万円と同11億92百万円(△35.3%)の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億26百万円と同8億32百万円(△47.3%)の減益となりました。

当社は、2018年度から2023年度までの中期経営計画「Raise Up “Daido Spirit” ～Ambitious, Innovative, Challenging～」(“大同スピリット”を更なる高みに引き上げ、大きな飛躍を果たす～高い志、改革する意欲、挑戦する心～)をスタートし、持続的な成長及び企業価値の向上に向けて、①既存事業の磨き上げ②新規事業の創出・育成③強固な基盤の確立④組織・コミュニケーションの活性化を4本の柱として掲げております。

2019年度も引き続き、中期経営計画のもと、既存事業におけるすべり軸受の全分野において世界市場でトップシェアを獲得し、同分野での揺るぎない地位の確立を目指します。具体的には、既にトップシェアの自動車エンジン用軸受、ターボチャージャー用軸受、大型船舶用エンジン軸受に加え、中小型船舶・建設機械用エンジン軸受、水力・火力・風力発電用特殊軸受やポリマー軸受を含む一般産業用軸受などすべり軸受の全分野での世界トップシェア獲得を目指すとともに、将来を見据えた新規事業の創出では、自動車の来るべきパラダイムシフト(エンジンからモーターへ)に的確に対応し、EV・PHV・HVなどの電動化自動車に特化した製品向けの新工場[DM Casting Technology (Thailand) Co.,Ltd]の設立や、自然エネルギーにおける新事業分野(当社既存事業における新用途開拓を含む)における風力発電軸受事業など非自動車用の特殊軸受の分野での成長基盤を着実に築いてまいります。

また、当社は1939年(昭和14年)11月に当地において産声をあげ、お陰様でこの度創立80周年を迎えることができました。この間、株主様、お取引様、従業員と諸先輩方、地域の住民の皆様に支えられ今日の発展・成長を成し遂げることができました。今までのご厚情に対しまして、深く感謝の意を表しますとともに、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月



大同メタルグループ 進化のあゆみ

大同メタル工業は2019年11月4日に創業80周年を迎えました。
創業時に軸受メタルの国産化を目指し、80周年を迎える今、
世界唯一の「総合すべり軸受メーカー」としてあらゆる産業分野に貢献しています。

1939 年

創業

軸受メタルの国産化を決意した
創業者・川越庸一がファインボーリング
マシンを開発

1939

大同メタル工業(株)を
設立、本社を名古屋市
中川区に開設



1940

中川工場操業開始、自動車用エンジン軸受事業開始

1943

- 本社を名古屋市中区に移転、黒川工場操業開始
- 社名を大同軸受工業(株)に変更

1945

岐阜工場操業開始

1946

社名を再び大同メタル工業(株)に変更

1947

本社を名古屋市中区から名古屋市北区に移転

1950 年代～

経営基盤の確立

技術と設備を充実させ生産体制を確立。
国際水準の量産体制、性能向上を図る

1961

名古屋証券取引所市場第二部上場

1962

犬山工場操業開始、自動車用エンジン軸受生産開始

1968

前原工場操業開始、
船舶用エンジン
軸受事業開始



1971

- ナガトメタル工業(株)、日本メタル工業(株)を吸収合併し、
それぞれ東京工場、埼玉工場と改称
- (株)アジアカルメット製作所の株式を取得

1973

ダイナメタル CO.,LTD.(タイ)設立

1976

ポンプ事業部操業開始

1980 年代～

グローバル企業

米国、中国、韓国、インドネシア
グローバル生産体制を整え、拡

1984

- 大同メタルU.S.A.INC.(米国)設立
- 中華大同軸承工業(股)(台湾)設立
(現 中原大同股份有限公司)

1989

同晟金属(株)(韓国)設立

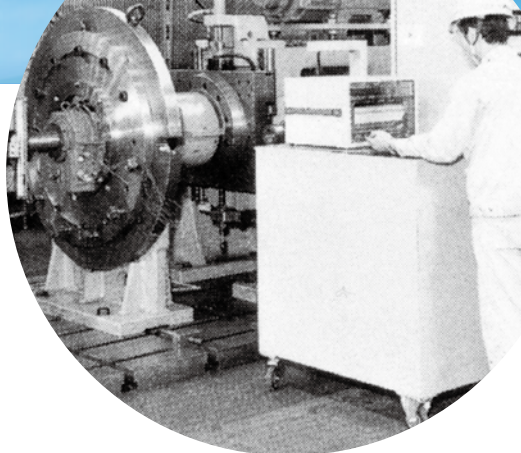


1991

PT.大同メタルインドネシア
(インドネシア)設立

1992

大同ロジテック(株)設立



2000 年代～

世界のトライボロジーリーダーを目指して

へ
工場を設立。
大

大変革期中、
新たな事業の柱を築く取組みを加速

※印：現在までに解散・清算した会社

1996

- エヌデーシー(株)の株式を取得
- 大同メタルアメリカCORP.
(米国)設立^(※)

1997

- グレーシア
大同アメリカLLC
(米国)設立
(2005年8月
持分全額譲渡)
- 大同メタル販売(株)設立
- 名古屋証券取引所市場第一部上場



1998

フェデラルモーガル大同HWP
CO.,LTD.(イギリス)設立
(現 大同インダストリアル ベアリング
ヨーロッパLTD.)



2000

ディーエムシー(株)設立
(現 大同プレーンベアリング(株)
(岐阜県関市))

2001

BBL大同プライベートLTD.
(インド)設立

2002

- 大同メタルコントロールAD
(モンテネグロ)設立
- 本社を名古屋市北区から
名古屋市中区に移転
- 大同精密金属(蘇州)
有限公司(中国)設立

2003

大同メタルヨーロッパGmbH
(ドイツ)設立

2004

東京証券取引所市場第二部上場

2005

- 東京証券取引所市場第一部上場

- 大同メタルチェコス.r.o.
(チェコ)設立
- 大同メタルベルフォンテンLLC
(米国)設立^(※)
- 東京本社を開設
- グレーシア大同アメリカLLCの
ベルフォンテン工場(米国)を
大同メタルベルフォンテンLLCが
営業譲受

2006

大同メタルヨーロッパLTD.
(イギリス)設立

2007

- 大同プレーンベアリング(株)
関工場を新設
- ZMZベアリングスLLC(ロシア)の
株式を取得(現 大同メタルロシアLLC)
- 広州原同貿易有限公司(中国)設立
- 大同リビルドサービスINC.
(フィリピン)設立^(※)

2008

東京工場・埼玉工場を閉鎖し、
大同プレーンベアリング(株)へ生産統合

2012

- 大同メタルメキシコS.A.DEC.V.
(メキシコ)設立
- 大同インダストリアルベアリング
ジャパン(株)設立

2014

大同メタルメキシコ販売
S.A.DEC.V.(メキシコ)設立

2015

大同メタル佐賀(株)設立

2016

(株)飯野ホールディングの
全株式を取得

2017

- DMSコリアCO.LTD.(韓国)出資
- ATAキャスティングテクノロジー
ジャパン(株)の全株式を取得

2018

DMキャスティングテクノロジー
(タイ) CO.,Ltd.(タイ)設立

自動車用エンジン軸受

■事業内容

自動車（乗用車・トラック・レーシングカー）エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機（ターボチャージャー・バルancer機構、インジェクションポンプ）用軸受など。

〈主な製品〉



▲半割メタル



▲スラストワッシャー



▲ターボチャージャー用
スラストベアリング

自動車用エンジン以外軸受

■事業内容

自動車部品（トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング等）用軸受など。

〈主な製品〉



▲ショックアブソーバー用
ブッシュ



▲スターター用ブッシュ



▲射出成型軸受

非自動車用軸受

■事業内容

船舶ディーゼルエンジン用軸受、発電（水車・タービン等）用軸受、産業用（コンプレッサー・増減速機等）軸受など。

〈主な製品〉

大型船舶用軸受



▲低速ディーゼル
エンジン用軸受

建設機械・ 中小型船舶用軸受



▲中高速ディーゼル
エンジン用軸受

発電用軸受



▲特殊軸受
（タービン用など）

一般産業用軸受



▲ドライベアリング

自動車用軸受以外部品

■事業内容

自動車用アルミダイカスト製品、曲げパイプ、ノックピン、NC切削品等

〈主な製品〉



▲切削加工品



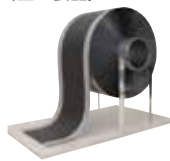
▲コンバーターケース

その他

■事業内容

電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受、食品・飲料・化粧品等用のロータリーポンプ、工作機械用集中潤滑装置

〈主な製品〉



▲電気二重層キャパシタ用
電極シート

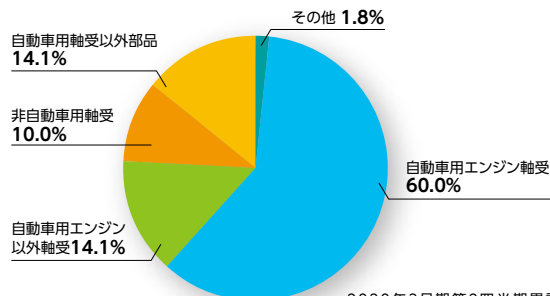


▲ロータリーポンプ



▲集中潤滑装置（MR-LUB）

売上高構成比（外部売上比率）



2020年3月期第2四半期累計

(暦年ベース。当社推定値) (%)

項目	2018 年 (実績)	2020 年 (目標)	2023 年 (目標)
自動車エンジン用半割	33.1	35.0	40.0
ターボチャージャー用(スモールターボ)	24.0	40.0	40.0
船用低速ディーゼルエンジン用	53.5	60.0	70.0
船用・産業用中高速ディーゼルエンジン用	15.3	16.0	20.0
ポリマー軸受	12.9	14.3	16.5
回転機械用軸受(発電用タービン等)	3.7	4.2	8.0

2020 年 3 月期 通期業績予想

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、
2019年9月17日に公表した予想値に変更はありません。

単位：百万円(百万円未満四捨五入、比率は表示単位未満四捨五入)

通期 連結業績	【前期】 2019 年 3 月期 (実績)	【当期】 2020 年 3 月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	107,718	100,100	△ 7,618	△ 7.1%
営業利益 (同利益率)	7,262 (6.7%)	4,500 (4.5%)	△ 2,762	△ 38.0%
経常利益 (同利益率)	6,630 (6.2%)	4,400 (4.4%)	△ 2,230	△ 33.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益 (同利益率)	4,135 (3.8%)	4,800 (4.8%)	+664	+16.1%

※当期想定為替レート：105 円 / 米ドル、117 円 / ユーロ

※固定資産の譲渡：2020 年 3 月期決算（連結・個別）において、約 3,906 百万円を特別利益として計上見込（税金等控除前）。

※業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

配当について

当期の中間配当につきましては、2019年5月10日公表の予想値どおり、創立80周年の記念配当5円を加味した「1株当たり20円」とさせていただきます。
なお、当期の期末配当につきましては、予想値「1株15円」を据え置いております。

	【前期】 2019 年 3 月期	【当期】 2020 年 3 月期
中間	15 円	20 円
期末	15 円	予定 15 円
年間配当	30 円	予定 35 円

DM Casting Technology (Thailand) Co.,Ltdの工場を設立

タイにアルミダイカスト 新工場を設立

設立目的：電動化自動車向けのアルミダイカスト製品の受注拡大を推進させ、同製品の先駆者としての地位を確立させる。



所在地	タイ王国 サムットプラカーン県
建屋完成日	2019 年 8 月
営業開始予定日	2020 年 2 月 (予定)
敷地面積	約 26,000㎡
建屋面積	約 12,000㎡

名証IR EXPO 2019 7月19日(金)20日(土) 吹上ホール

7月19日(金)および20日(土)に名古屋の吹上ホールにて開催された「名証IR EXPO2019」に本年も出展いたしました。

当社ブースは、本年度も引き続き「より多くの来場者の方に当社を知ってもらう」という目的のもと、ミニ説明会を実施すると共に、プレミアム説明会にも初めて参加いたしました。



プレミアム説明会の様子

今後も、個人投資家の方と実際に顔を合わせてご説明ができる貴重な機会を大切にし、当社をより詳しく・正しく知っていただけるよう、IR活動に努めてまいります。

❖ 主要財務指標

	2018/3 末	2018/9 末	2019/3 末	2019/9 末	2019/3 末比
自己資本当期純利益率 (ROE)*	7.7%	6.7%	7.9%	3.3%	△ 4.5Pt
自己資本比率	30.3%	33.9%	35.0%	35.9%	+0.9Pt
純有利子負債 (百万円) (有利子負債－現預金)	52,129	41,539	39,811	39,297	△ 514

* ROE は、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科 目		前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部	流動資産	78,142	74,588
	固定資産	83,739	83,694
	有形固定資産	62,043	62,142
	無形固定資産	12,591	12,505
	投資その他の資産	9,103	9,046
	資産合計	161,881	158,283
負債の部	流動負債	57,885	55,365
	固定負債	38,742	37,355
	負債合計	96,628	92,720
純資産の部	株主資本	58,182	58,396
	資本金	8,413	8,413
	資本剰余金	13,114	13,114
	利益剰余金	36,655	36,868
	自己株式	△ 0	△ 0
	その他の包括利益累計額合計	△ 1,545	△ 1,524
	その他有価証券評価差額金	906	783
	為替換算調整勘定	△ 352	△ 372
	退職給付に係る調整累計額	△ 2,100	△ 1,935
	非支配株主持分	8,617	8,690
	純資産合計	65,253	65,562
負債純資産合計		161,881	158,283

連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

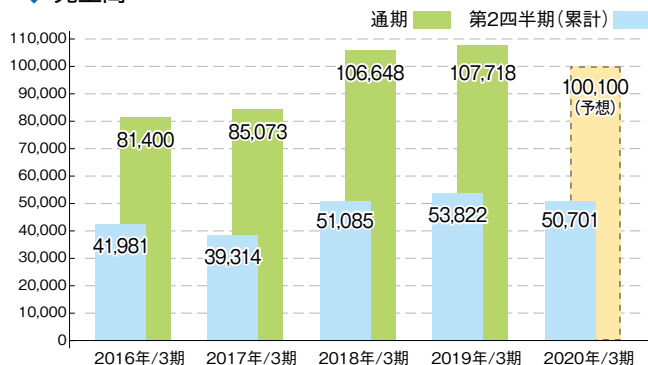
科 目	前第2四半期 連結累計期間 (2018年4月1日～2018年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日～2019年9月30日)
売上高	53,822	50,701
売上原価	39,752	37,675
売上総利益	14,069	13,026
販売費及び一般管理費	10,353	10,691
営業利益	3,716	2,335
営業外収益	356	397
営業外費用	700	552
経常利益	3,372	2,180
税金等調整前四半期純利益	3,372	2,180
法人税、住民税及び事業税	1,089	773
法人税等調整額	171	218
非支配株主に帰属する 四半期純利益	353	262
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,758	926

連結キャッシュ・フロー計算書

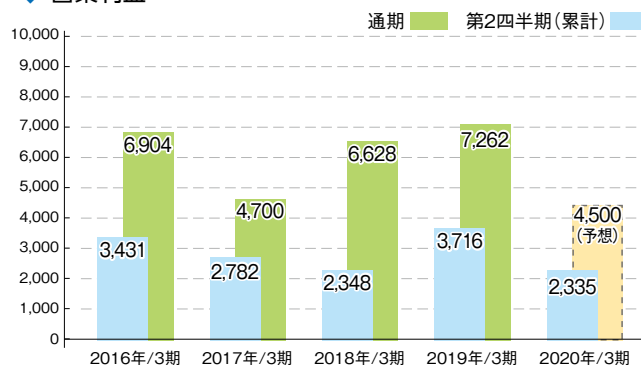
単位：百万円（百万円未満切捨て）

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (2018年4月1日～2018年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日～2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,791	6,355
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 896	△ 5,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,094	△ 2,709
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 208	△ 41
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	7,780	△ 1,745
現金及び現金同等物の期首残高	11,866	17,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,646	15,382

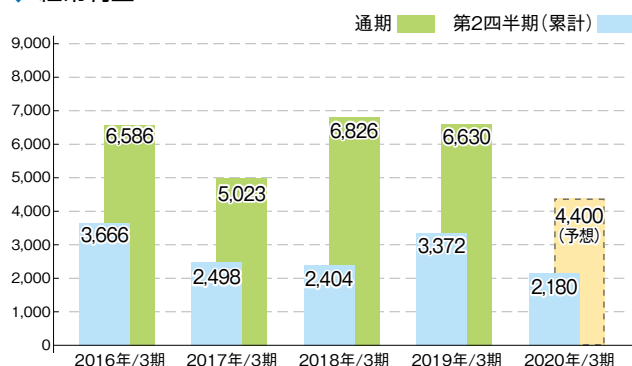
❖ 売上高



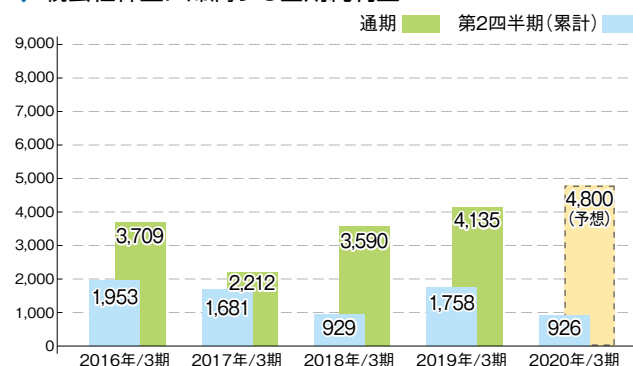
❖ 営業利益



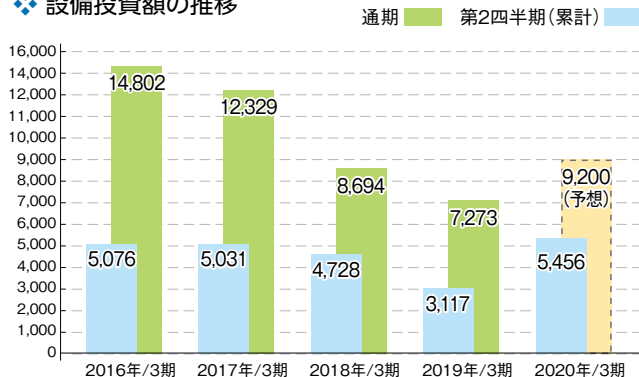
❖ 経常利益



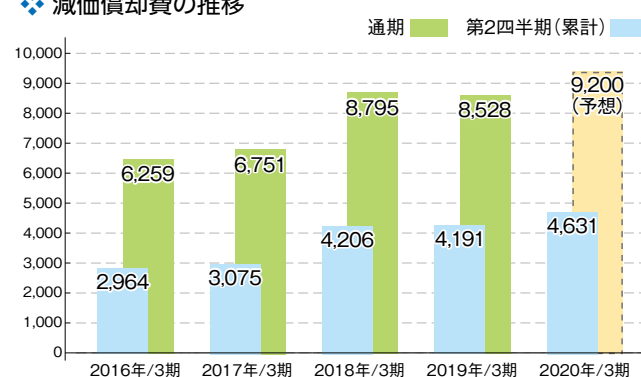
❖ 親会社株主に帰属する当期純利益



❖ 設備投資額の推移



❖ 減価償却費の推移



会社概要

(2019年9月30日現在)

設 立	1939 年 (昭和 14 年) 11 月 4 日		
資 本 金	8,413 百万円		
従 業 員 数	連結 6,997 名／個別 1,333 名		
事 業 内 容	●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルancer機構)用軸受など ●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング、インジェクションポンプ等)用軸受など ●非自動車用軸受 低速(2サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、中高速(4サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受など ●自動車用軸受以外部品 自動車用エンジンやトランスミッション周辺の高精度・高品質部品(曲げパイプ、ノックピン、NC切削品等)、自動車用アルミダイカスト製品など ●その他 電気二重層キャパシタ用電極シート事業、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業など		
本 社	名古屋本社 〒460-0008	名古屋市中区栄二丁目3番1号 名古屋広小路ビルディング 13 階	
	東京本社 〒140-0002	東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階	
国内生産拠点	大山工場 (犬山事業所内) 前原工場 (大山事業所内) バイメタル製造所 (犬山事業所内) 岐阜工場 TMBS 工場 (犬山事業所内) TMBS = Turbomachinery Bearing Systems (回転機械用軸受)		
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、北関東営業所、浜松営業所、広島営業所、九州営業所		
関 係 会 社			
●国 内	大同ブレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社、大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社、大同ロジテック株式会社、株式会社アジアケルメット製作所、株式会社飯野製作所、ATA キャスティングテクノロジージャパン株式会社		
●海 外 (主な拠点)	【アジア】 中原大同股份有限公司 (台湾) PT. 大同メタルインドネシア (インドネシア) 同晟金属株式会社 (韓国) BBL 大同プライベート LTD. (インド) ダイナメタル CO., LTD. (タイ) 韓国ドライベアリング株式会社 (韓国) フィリピン飯野 Corp (フィリピン) PT. 飯野インドネシア (インドネシア) ATA キャスティングテクノロジージャパン CO., LTD. (タイ) DM キャスティングテクノロジージャパン CO., Ltd. (タイ)		
	【中国】 大同精密金属 (蘇州) 有限公司 飯野 (佛山) 科技有限公司 広州原同貿易有限公司		
	【ヨーロッパ】 大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD. (イギリス) 大同メタルチェコ s.r.o. (チェコ) 大同メタルコントロール AD (モンテネグロ) 大同メタルヨーロッパLTD. (イギリス) 大同メタルヨーロッパ GmbH (ドイツ) 大同メタルロシア LLC (ロシア)		
	【北米】 大同メタル U.S.A. INC. (米国) 大同メタルメキシコ S.A. DE C.V. (メキシコ) 大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V. (メキシコ) ISS アメリカ INC. (アメリカ) ISS メキシコメニュファクチャリング S.A. DE C.V. (メキシコ)		

役員

(2019年9月30日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役会長 兼最高経営責任者	判 治 誠 吾
代表取締役社長 兼最高執行責任者	榎 山 恒 太 郎
取 締 役 兼専務執行役員	佐 々 木 利 行
取 締 役 兼専務執行役員	井 川 雅 樹
取 締 役 兼常務執行役員	三 代 元 之
取 締 役 兼常務執行役員	佐 藤 善 昭
☆ 取 締 役	武 井 敏 一
☆ 取 締 役	星 長 清 隆
常 勤 監 査 役	玉 谷 昌 明
☆ 監 査 役	田 辺 邦 子
☆ 監 査 役	松 田 和 雄

【注】☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員】

上 席 執 行 役 員	宮 脇 敏 之
上 席 執 行 役 員	浅 井 眞 吾
上 席 執 行 役 員	古 川 智 充
上 席 執 行 役 員	平 松 伸 隆
上 席 執 行 役 員	吉 田 有 宏
上 席 執 行 役 員	墓 越 繁 昌
執 行 役 員	正 田 健 二
執 行 役 員	小 島 尚
執 行 役 員	川 瀬 誠
執 行 役 員	渡 部 晃
執 行 役 員	林 敦

株式事項 (2019年9月30日現在)

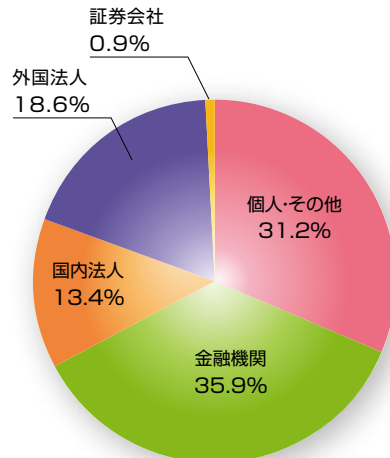
株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 47,520,253 株 (自己株式 529 株を含む)
 株 主 数 9,847 名

大株主

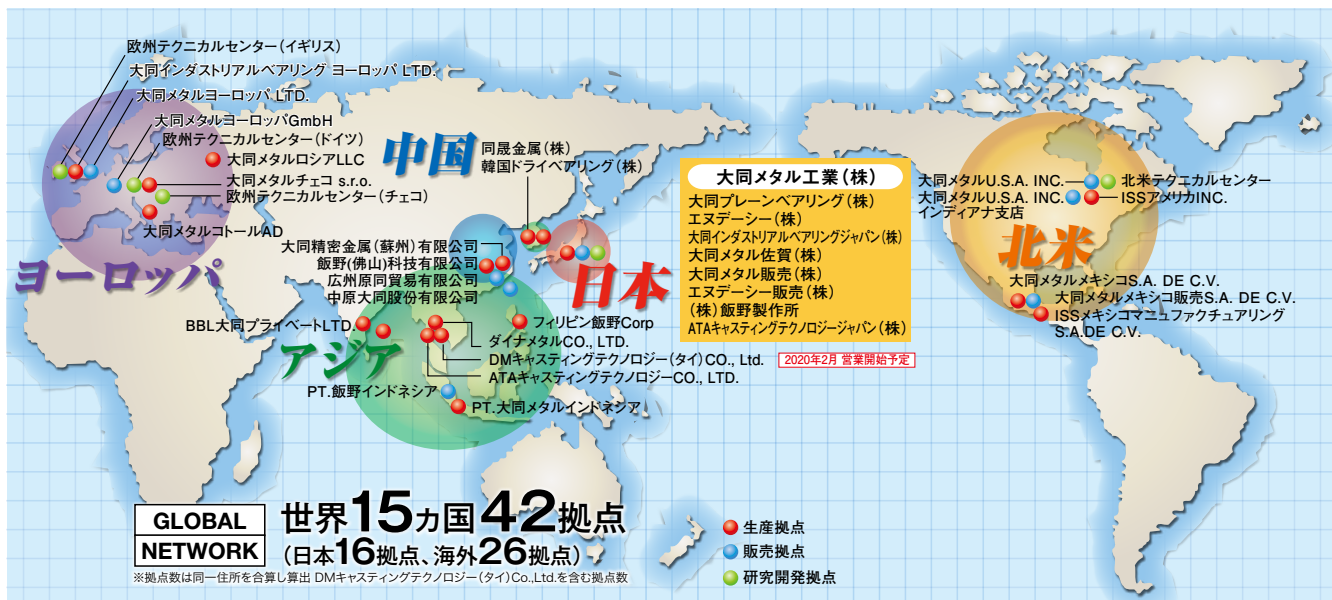
株 主 名	持株数 (千株)
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
株式会社三菱 UFJ銀行	1,822
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,750
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,660
大同メタル友栄会持株会	1,420
東京海上日動火災保険株式会社	1,107
ザ セリ ワタナ インダストリー カンパニー リミテッド 703000	1,000
日鉄日新製鋼株式会社	909
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	886

所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク (主な拠点)

(2019年9月30日現在)



事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年 6 月	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会：毎年 3 月 31 日 期 末 配 当：毎年 3 月 31 日 中 間 配 当：毎年 9 月 30 日	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社 の本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100 株		
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (http://www.daidometal.com/) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部		

株式に関する諸手続のご案内

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が施行されており、「復興特別所得税」として0.315%(所得税額に対して2.1%)が併せて課税されています。

「配当金計算書」について

配当金お支払の際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等に行なわれます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、「配当金領収証」にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9：00 ～ 17：00]

2 インターネットによる株式に関する諸手続のご案内
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株主優待

株主優待制度の概要

- (1) 株主優待の対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、500株以上を保有の株主様。
- (2) 株主優待の内容
毎年3月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、クオカードを年1回贈呈。
- (3) 株主優待の贈呈時期
対象株主様には、定時株主総会終了後の6月下旬に報告書等とともに発送いたします。

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
500 株以上～ 1,000 株未満	クオカード 1,000 円分	クオカード 2,000 円分
1,000 株以上～ 5,000 株未満	クオカード 1,500 円分	クオカード 2,500 円分
5,000 株以上	クオカード 2,000 円分	クオカード 3,000 円分

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録され、かつ3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、7回以上連続で記載または記録された株主様といたします。

大同メタル工業株式会社



<http://www.daidometal.com/>



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。



適切に管理された森林で生産されたことを示す「植物®」認証証を使用しています。